別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【大正小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

〇チャレンジメニュー①：3-①ホームページやインスタグラムや X など SNS の導入
・X での投稿とあわせて、Instagram やオンライン上でのイベントの参加申込み受付、管理等についてご検討ください。また、SNS の運用に関しては、市民活動ネットワークセンターつどいを利用されるなど、外部への相談やアドバイスを受けることについてご検討ください。

〇チャレンジメニュー②：4-③まち協構成団体以外の主体との連携
・他団体との連携は非常に良い取り組みだと思いますので、その連携による効果について、検証する手法についてご検討ください。

〇取り組み②：青色防犯パトロール
・防犯パトロールについて、車両によるパトロールとあわせて、徒歩によるパトロールなど、車両以外による方法についてもご検討ください。

〇取り組み③：防災訓練
・年１回の防災訓練とあわせて、簡易な案内や配布物などを活用した防災啓発を他の取り組みの前後に実施するなど、定期的な情報配信や訓練の実施についてご検討ください。

〇取り組み⑥：キッズワクワクイベント
・この取り組みを通じて、親子がまちづくりに参加する機会となるような工夫についてご検討ください。

〇取り組み⑦：まち協運動講座
・講師による「ポールウォーキング」を学んだ後、月１回程度、定例で運動をする会の実施についてご検討ください。
・健康に関する他の取り組みとの連携を図る手法についてご検討ください。

〇取り組み⑧：うた体操
・上記と同様、健康に関する他の取り組みとの連携を図る手法についてご検討ください。

〇取り組み⑩：大和川の生物の展示
・大和川の散策も含めて、展示している魚について広報する手法についてご検討ください。

別紙

〔今後の活動にかかる助言〕

※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

〇取り組み①：AED の維持管理

・広報誌、防災訓練での講習で校区民に周知を促すのは良い取り組みだと考えます。今後についても、引き続き継続して実施してください。

〇取り組み③：防災訓練

・地域の特性を考慮した防災訓練になっており、非常に良い取り組みだと考えます。今後についても、引き続き継続して実施してください。

〇取り組み④：まち協主催大正コミセン寄席

・地域だけでなく地域間の交流の場としても良い取り組みだと考えます。今後についても、引き続き継続して実施してください。

〇取り組み⑤：大和川マラソン・ウォーキング大会

・地域のことも楽しめるイベントとなっている点が良い取り組みだと考えます。今後についても、引き続き継続して実施してください。

〇取り組み⑨：大正川の清掃

・良い取り組みであるし、まちの魅力にもつながる活動でもあるので、会が解散となるのは非常に残念です。今後、機会をとらえて、別のかたちでの取り組みの展開についてご検討ください。

〇全体を通して

・大正小学校区では「安全・安心に暮らせるまちづくり」を軸として、防犯、防災、AED の維持管理など、地域の基盤となる取り組みに重点的に取り組まれていることが伝わってきました。また、健康づくりや大和川を活かしたイベントなど、地域資源を活かした事業も継続されており、地域住民が参加できる機会を着実に積み重ねられていることがうかがえます。
その一方で、申請書全体を見ると、それぞれの事業が個別に実施されている印象があり、各事業を通じてどのように地域の担い手を育てていくのかという流れがやや見えにくいように感じました。
例えば、防犯パトロールや防災訓練に参加した方が、その後も地域活動に継続して関われる仕組みや、小さな役割を担える機会を設けることで、地域活動への参加者を増やしていくことも期待できるのではないでしょうか。また、大正小学校区では、大和川という地域資源を活かしたマラソン・ウォーキング大会や、生物展示など特徴的な事業も実施されています。これらを単独のイベントとして終えるのではなく、防災や環境学習、子ども向け事業などと結び付けながら、「大和川を知る・楽しむ・守る」という一連のストーリーとして発展させていくことで、大正校区ならではの特色がより明確になるように感じます。
・チャレンジメニューとして SNS（X）の活用を予定されていますが、イベントの告知・報告だけでなく、地域で活動する方々の紹介や、防犯・防災活動の様子、地域の魅力などを継続的に

別紙

発信することで、新たな参加者や協力者との接点づくりにもつながるのではないでしょうか。役員だけでなく、若い世代にも発信に関わってもらうことで、次世代の担い手育成にもつながることを期待します。

・この地域だからこその取り組みもあり、非常に期待するイベントがあります。折角の取り組みが続いていくように新たな人材の確保が重要だと思います。イベント時にまちづくり協議会の活動を知ってもらい、ちょっとしたお手伝いからでも良いので、参加してくれる人材を確保する工夫をしていくことが必要かと思います。労力かけるところと簡略化するところを検討して長く続く取り組みとしていただきたいと思います。